



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための 光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！」
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川 恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」
「心を尽くしてYMCAのために」

今井 武彦 (東京むかで)
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年7月会報

強調 テーマ

キックオフ・P R

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 押山 愛紀子

↑今月の聖句

主は羊飼、私には何も欠けることがない。
主はわたしを青草の原に休ませ
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。

The LORD Our shepherd;
I have everything I need.
He lets me rest in fields of green grass
And leads me to quiet pools of fresh water.
He gives me new strength.
He guides me in the right paths,
As he has promised.

旧約聖書 詩編 23:1-3 (寺門 選)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 司会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | |
| 5. 会食 | |
| 6. 東新部 部長訪問 | |
| | 今井 武彦 東新部部長 (東京むかでクラブ) |
| 7. ハッピーバースデー | 7/1 松井百合子さん |
| | 7/22 小川 圭一 君 |
| 6. 8. 結婚記念日 | ありません |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 7月 例会 プログラム

とき 令和5年7月21日(金) 19:00~21:00
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

6月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者	6月16日(金)	6月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	83%	会員	10名	切手	0g
	第2例会		メネット	0名	現金	0円
	6月22日		イキャップ	0名	累計切手	0g
	YMCAすずらん会		ゲスト	1名		
			ビジター	6名		
			合計	17名		
			すずらん会 再開			
			ゲスト	6名		
			スタッフ	6名		
			合計	12名		
					2022~2023年度 自主献金については 今期もクラブからの 献金としました	
						6月 7,020円 年度計 62,621円

本日のメインプログラム

今井武彦 東新部部長訪問

今こそ、ワイズメンズクラブは、時代の変化の要請にこたえて、変わらなければなりません。東新部では、2022年-2023年度のALL 東新部始動の主題を引き継ぎ 2023年-2024年度の部主題は「ALL 東新部、継続・発展!」といたします。即ち、ワイズとYMCAが協調し、YMCAを含めたユース世代への働きかけを強め、ユース・エンパワメントを輝かせ、次世代にワイズとYMCAへの将来の希望を示すことです。

出席予定の方々：今井武彦 部長 伊丹一之 書記
比奈地康晴 国際・交流事業主査
加藤義孝 会員増強事業主査
神保伊和雄 部大会実行委員長

※ 6月例会報告

居場所事業「liby」の現状と課題

東京YMCA南センター liby 担当 押山 愛紀子 氏



卓話要旨

- 現在のlibyはスタッフ1名となり、事業を担っています。
1事業部所から事業へと変更し、南居場所事業となりました。
- libyメンバー、サポートリーダーと共に活動をし、liby日記を作成し、活動を紹介。
- 居場所事業として出来ることは？
南居場所、西居場所と両所で連携し、できる事柄から。
- ボランティア募集をactivo(アクティボ)サイトを活用して。
- YMCAイチゴの部屋(日本語・学習支援)を参考にチラシ作成を。
高校生のボランティアは「YMCA 保育園ねがい」と連携できるか模索中。

- 南センターでのリーダー登録はほぼ30名、夏キャンプ、特別な活動などで。
- 学生ボランティアが150名余りという盛岡YMCAを訪ねて、活動の参考に。
若者は活動題材を求めている。リソースととらえて。
- 南センターの担当スタッフは一人でも皆で支え合い活動できる方法を。
学童保育にリーダーが参加し、支えるリーダーが多くなるのでは。

新たな課題に取り組んでいる押山愛紀子さんにお話を頂き、ワイズとして共に関われる事柄を模索し、新年度へ向けてのシナリオを描きましょう。

(小原 記)



※ 山田公平理事年度がスタートいたします。

2023-24年度 区報第1号をごらんください

直接ダウンロードは

<https://www.ys->

[east.or.jp/app/download/11945029391/2023-](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-)

[2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500)

国際会長

ウルリック・ラウリドセン

7月は新しいリーダーを迎え、新年度の活動を開始する月です。

ここ数年、私たちは直前国際会長のキム博士の主題である「ヒールザワールド(世界を癒そう)」のもとで活動してきました。「ヒールザワールド」という言葉は、多くの人の耳には素晴らしい響きに聞こえるかもしれませんが、一方で、少し圧倒されるかもしれません。私たちは野心的であるべきですが、癒しとは、家族や友人、同僚、クラブの仲間に対するハグや 優しい感謝の言葉かもしれません。私たちは、世界中でたくさんのプロジェクトを行っています。その多くは、医療や精神的な支援という意味での癒しに焦点を当てたものですが、癒しは、高齢者が教会に通ったり、観光ツアーに出かけるのを手伝ったりといった単純な行為の形をとることもあります。貧しい人々やホームレスのために特別な日に食べ物を提供したり、恵まれない子供たちのために活動を企画したりすることも、癒しかもしれません。私たちは、常に他人のニーズに気を配り、助けるための最善の解決策を見つけるべきです。

持続可能な開発目標 (SDGs)： 平和と繁栄による世界の癒し 2015 年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、現在そして将来にわたって、人々と地球の平和と繁栄のための共通の青写真を提示しています。その中心にあるのは、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) であり、先進国も開発途上国も含めたすべての国々が、グローバルなパートナーシップのもとで行動を起こすための緊急の呼びかけです。

SDGs は、貧困やその他の困窮に終止符を打つには、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進する戦略と手を携えなければならないことを認識しています。(出典：17 の目標)

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) は、特に「ヒールザワールド」と「タイムオブファスト (TOF)」の取り組み、そして「ロールバックマラリア (RBM)」プロジェクトを通じたマラリア撲滅 への長期的な支援を通じて、国連の世界目標の多くに取り組んでいると結論づけることができます。また、目標 13 の「気候変動対策」についても考えていただきたいと思います。気候変動とその影響と闘うために、緊急に行動を起こしてください。YMI は、環境に責任を持つ組織であることを約束し、環境フットプリントを削減する責任を受け入れます。これは YMI の活動に参加する権利に付随する義務です。YMI は、指導者の移動に伴う CO2 排出量を相殺するプロジェクトに投資しています。クラブと YMCA は、温室効果ガスの排出を削減または排除するプロジェクトのための資金を申請することができます。資金申請や寄付による支援方法については、ウェブサイトをご覧ください。

☀️ YMCA 保育園ねがい ヒマワリ植え付け

6月26日(月) 暑い中、ガーデニングに来ていただき、本当にありがとうございました。

コロナの扱いが軽くなったとはいえ、保育園では今も他の感染症が流行し、体調を崩す子ども(大人も)が続いています。

今日も、職員の欠勤や早退者、入園見学の対応の中、本当にありがとうございました。

自由過ぎる！子ども達にお付き合いいただき、得難い異年齢交流であったと思います。

見学の方が Ys のお働きにとってもびっくりされて、喜んでおられました。

水やりを子どもたちと頑張り、花が咲くまで見守れたらと心から願っています。

次回の親子プログラムを楽しみにしています。

ありがとうございました。蒸し暑かったですね。曇りだったのが、まだ幸いでした。

(今井 世都 園長 記)



☀️ 下北沢音楽祭

みんなのうたごえサロン 2023

7月6日(木) 14:00 開演

北沢タウンホール

コロナ禍で途絶えていた、「みんなのうたごえサロン」童謡唱歌を歌う集いが、開催されました。

うたごえリーダー：

小川圭一君、

アシスタント：

武田清美さん、



ピアノ：

鈴木信子さん、
片岡幸江さん、
武藤栄子さん



歌いつぎたい日本の歌 100 選より、
季節の歌、外国の歌など、懐かしい歌を
ピアノ伴奏に合わせ、声高らかに。

☀ 会長通信 2307

新年度を迎えることが出来ました。感謝して、出来ることを進めてまいりたいと思います。

高齢化により、運動量は小さくなりますが、YMCA 運動の発展のために祈り続けましょう。

また、交流するワイズの楽しさも作り出していきたいものです。

(小川 記)

☀ YMCA NEWS

5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。

- 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、

新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任。

- 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。初回は、コロナ禍の影響や物価上昇等により経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち(小学生35人)を対象に7月27日～29日に「山中エンジョイキャンプ」を実施し、第二弾として外国にルーツのある子どもたち(小中学生25人)を対象に8月22日～24日に「サマーキャンプ2023」を実施する。なお、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
- 国立と経堂をエリアとした居場所事業では、新たな取り組みとして「外国にルーツのある子ども」を対象としたプログラムを展開する。夏には宿題サマースクール、キャンプをYWCAや一橋大学の大学院の協力を得ながら実施する。ボランティアに大学生や専門学校生だけでなく、高校生や社会人も加わり、ボランティアのつながりの強化も図っていく。

liby 報告

- 6月10日(土) liby おでかけで高尾山に行った。
- 6月 liby 食堂 9日「カレー」 23日「手作りパンとチリコンカン」を作った。食堂の日はリーダーとメンバーの参加人数は10名を超える。
- 7月21日(金)～9月5日(火)まで夏休みになります。

今後の主な行事日程

- 外国にルーツのある子どもたちの宿題サマースクール
7月26日(水)・8月9日(水)
13:30-16:00 国立(西東京センター)
7月27日(木)・8月2日(水)17日(木)
13:30-16:00 経堂(南センター)
- 外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ
8月22日(火)～24日(木) 山中湖センター
- 「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場：インド・チェンナイ
- 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン)：
9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン)：
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園)：9月23日



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための 光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！」
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川 恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」
「心を尽くしてYMCAのために」

今井 武彦 (東京むかで)
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年7月会報

強調 テーマ

キックオフ・P R

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 押山 愛紀子

↑今月の聖句

主は羊飼、私には何も欠けることがない。
主はわたしを青草の原に休ませ
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。

The LORD Our shepherd;
I have everything I need.
He lets me rest in fields of green grass
And leads me to quiet pools of fresh water.
He gives me new strength.
He guides me in the right paths,
As he has promised.

旧約聖書 詩編 23:1-3 (寺門 選)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 司会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | |
| 5. 会食 | |
| 6. 東新部 部長訪問 | |
| | 今井 武彦 東新部部長 (東京むかでクラブ) |
| 7. ハッピーバースデー | 7/1 松井百合子さん |
| | 7/22 小川 圭一 君 |
| 6. 8. 結婚記念日 | ありません |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 7月 例会 プログラム

とき 令和5年7月21日(金) 19:00~21:00
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

6月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者	6月16日(金)	6月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	83%	会員	10名	切手	6月 7,020円
	第2例会		メネット	0名	現金	年度計 62,621円
	6月22日		イキャップ	0名	累計切手	
	YMCAすずらん会		ゲスト	1名		
			ビジター	6名		
			合計	17名		
			すずらん会 再開			
			ゲスト	6名		
			スタッフ	6名		
			合計	12名		

2022~2023年度
自主献金については
今期もクラブからの
献金としました

本日のメインプログラム

今井武彦 東新部部長訪問

今こそ、ワイズメンズクラブは、時代の変化の要請にこたえて、変わらなければなりません。東新部では、2022年-2023年度のALL 東新部始動の主題を引き継ぎ 2023年-2024年度の部主題は「ALL 東新部、継続・発展!」といたします。即ち、ワイズとYMCAが協調し、YMCAを含めたユース世代への働きかけを強め、ユース・エンパワメントを輝かせ、次世代にワイズとYMCAへの将来の希望を示すことです。

出席予定の方々：今井武彦 部長 伊丹一之 書記
比奈地康晴 国際・交流事業主査
加藤義孝 会員増強事業主査
神保伊和雄 部大会実行委員長

※ 6月例会報告

居場所事業「liby」の現状と課題

東京YMCA南センター liby 担当 押山 愛紀子 氏



卓話要旨

- 現在のlibyはスタッフ1名となり、事業を担っています。
1事業部所から事業へと変更し、南居場所事業となりました。
- libyメンバー、サポートリーダーと共に活動をし、liby日記を作成し、活動を紹介。
- 居場所事業として出来ることは？
南居場所、西居場所と両所で連携し、できる事柄から。
- ボランティア募集をactivo(アクティボ)サイトを活用して。
- YMCAイチゴの部屋(日本語・学習支援)を参考にチラシ作成を。
高校生のボランティアは「YMCA 保育園ねがい」と連携できるか模索中。

- 南センターでのリーダー登録はほぼ30名、夏キャンプ、特別な活動などで。
- 学生ボランティアが150名余りという盛岡YMCAを訪ねて、活動の参考に。
若者は活動題材を求めている。リソースととらえて。
- 南センターの担当スタッフは一人でも皆で支え合い活動できる方法を。
学童保育にリーダーが参加し、支えるリーダーが多くなるのでは。

新たな課題に取り組んでいる押山愛紀子さんにお話を頂き、ワイズとして共に関われる事柄を模索し、新年度へ向けてのシナリオを描きましょう。

(小原 記)



※ 山田公平理事年度がスタートいたします。

2023-24年度 区報第1号をごらんください

直接ダウンロードは

<https://www.ys->

[east.or.jp/app/download/11945029391/2023-](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-)

[2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500)

国際会長

ウルリック・ラウリドセン

7月は新しいリーダーを迎え、新年度の活動を開始する月です。

ここ数年、私たちは直前国際会長のキム博士の主題である「ヒールザワールド（世界を癒そう）」のもとで活動してきました。「ヒールザワールド」という言葉は、多くの人の耳には素晴らしい響きに聞こえるかもしれませんが、一方で、少し圧倒されるかもしれません。私たちは野心的であるべきですが、癒しとは、家族や友人、同僚、クラブの仲間に対するハグや 優しい感謝の言葉かもしれません。私たちは、世界中でたくさんのプロジェクトを行っています。その多くは、医療や精神的な支援という意味での癒しに焦点を当てたものですが、癒しは、高齢者が教会に通ったり、観光ツアーに出かけるのを手伝ったりといった単純な行為の形をとることもあります。貧しい人々やホームレスのために特別な日に食べ物を提供したり、恵まれない子供たちのために活動を企画したりすることも、癒しかもしれません。私たちは、常に他人のニーズに気を配り、助けるための最善の解決策を見つけるべきです。

持続可能な開発目標 (SDGs)： 平和と繁栄による世界の癒し 2015 年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、現在そして将来にわたって、人々と地球の平和と繁栄のための共通の青写真を提示しています。その中心にあるのは、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) であり、先進国も開発途上国も含めたすべての国々が、グローバルなパートナーシップのもとで行動を起こすための緊急の呼びかけです。

SDGs は、貧困やその他の困窮に終止符を打つには、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進する戦略と手を携えなければならないことを認識しています。(出典：17 の目標)

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) は、特に「ヒールザワールド」と「タイムオブファスト (TOF)」の取り組み、そして「ロールバックマラリア (RBM)」プロジェクトを通じたマラリア撲滅 への長期的な支援を通じて、国連の世界目標の多くに取り組んでいると結論づけることができます。また、目標 13 の「気候変動対策」についても考えていただきたいと思います。気候変動とその影響と闘うために、緊急に行動を起こしてください。YMI は、環境に責任を持つ組織であることを約束し、環境フットプリントを削減する責任を受け入れます。これは YMI の活動に参加する権利に付随する義務です。YMI は、指導者の移動に伴う CO2 排出量を相殺するプロジェクトに投資しています。クラブと YMCA は、温室効果ガスの排出を削減または排除するプロジェクトのための資金を申請することができます。資金申請や寄付による支援方法については、ウェブサイトをご覧ください。

☀️ YMCA 保育園ねがい ヒマワリ植え付け

6月26日(月) 暑い中、ガーデニングに来ていただき、本当にありがとうございました。

コロナの扱いが軽くなったとはいえ、保育園では今も他の感染症が流行し、体調を崩す子ども(大人も)が続いています。

今日も、職員の欠勤や早退者、入園見学の対応の中、本当にありがとうございました。

自由過ぎる！子ども達にお付き合いいただき、得難い異年齢交流であったと思います。

見学の方が Ys のお働きにとってもびっくりされて、喜んでおられました。

水やりを子どもたちと頑張り、花が咲くまで見守れたらと心から願っています。

次回の親子プログラムを楽しみにしています。

ありがとうございました。蒸し暑かったですね。曇りだったのが、まだ幸いでした。

(今井 世都 園長 記)



☀️ 下北沢音楽祭

みんなのうたごえサロン 2023

7月6日(木) 14:00 開演

北沢タウンホール

コロナ禍で途絶えていた、「みんなのうたごえサロン」童謡唱歌を歌う集いが、開催されました。

うたごえリーダー：

小川圭一君、

アシスタント：

武田清美さん、



ピアノ：

鈴木信子さん、
片岡幸江さん、
武藤栄子さん



歌いつぎたい日本の歌 100 選より、
季節の歌、外国の歌など、懐かしい歌を
ピアノ伴奏に合わせ、声高らかに。

☀ 会長通信 2307

新年度を迎えることが出来ました。感謝して、出来ることを進めてまいりたいと思います。

高齢化により、運動量は小さくなりますが、YMCA 運動の発展のために祈り続けましょう。

また、交流するワイズの楽しさも作り出していきたいものです。

(小川 記)

☀ YMCA NEWS

5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。

- 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、

新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任。

- 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。初回は、コロナ禍の影響や物価上昇等により経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち(小学生35人)を対象に7月27日～29日に「山中エンジョイキャンプ」を実施し、第二弾として外国にルーツのある子どもたち(小中学生25人)を対象に8月22日～24日に「サマーキャンプ2023」を実施する。なお、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
- 国立と経堂をエリアとした居場所事業では、新たな取り組みとして「外国にルーツのある子ども」を対象としたプログラムを展開する。夏には宿題サマースクール、キャンプをYWCAや一橋大学の大学院の協力を得ながら実施する。ボランティアに大学生や専門学校生だけでなく、高校生や社会人も加わり、ボランティアのつながりの強化も図っていく。

liby 報告

- 6月10日(土) liby おでかけで高尾山に行った。
- 6月 liby 食堂 9日「カレー」 23日「手作りパンとチリコンカン」を作った。食堂の日はリーダーとメンバーの参加人数は10名を超える。
- 7月21日(金)～9月5日(火)まで夏休みになります。

今後の主な行事日程

- 外国にルーツのある子どもたちの宿題サマースクール
7月26日(水)・8月9日(水)
13:30-16:00 国立(西東京センター)
7月27日(木)・8月2日(水)17日(木)
13:30-16:00 経堂(南センター)
- 外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ
8月22日(火)～24日(木) 山中湖センター
- 「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場：インド・チェンナイ
- 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン)：
9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン)：
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園)：9月23日

本日のメインプログラム

今井武彦 東新部部長訪問

今こそ、ワイズメンズクラブは、時代の変化の要請にこたえて、変わらなければなりません。東新部では、2022年-2023年度のALL 東新部始動の主題を引き継ぎ 2023年-2024年度の部主題は「ALL 東新部、継続・発展!」といたします。即ち、ワイズとYMCAが協調し、YMCAを含めたユース世代への働きかけを強め、ユース・エンパワメントを輝かせ、次世代にワイズとYMCAへの将来の希望を示すことです。

出席予定の方々：今井武彦 部長 伊丹一之 書記
比奈地康晴 国際・交流事業主査
加藤義孝 会員増強事業主査
神保伊和雄 部大会実行委員長

※ 6月例会報告

居場所事業「liby」の現状と課題

東京YMCA南センター liby 担当 押山 愛紀子 氏



卓話要旨

- 現在のlibyはスタッフ1名となり、事業を担っています。
1事業部所から事業へと変更し、南居場所事業となりました。
- libyメンバー、サポートリーダーと共に活動をし、liby日記を作成し、活動を紹介。
- 居場所事業として出来ることは？
南居場所、西居場所と両所で連携し、できる事柄から。
- ボランティア募集をactivo(アクティボ)サイトを活用して。
- YMCAイチゴの部屋(日本語・学習支援)を参考にチラシ作成を。
高校生のボランティアは「YMCA 保育園ねがい」と連携できるか模索中。

- 南センターでのリーダー登録はほぼ30名、夏キャンプ、特別な活動などで。
- 学生ボランティアが150名余りという盛岡YMCAを訪ねて、活動の参考に。
若者は活動題材を求めている。リソースととらえて。
- 南センターの担当スタッフは一人でも皆で支え合い活動できる方法を。
学童保育にリーダーが参加し、支えるリーダーが多くなるのでは。

新たな課題に取り組んでいる押山愛紀子さんにお話を頂き、ワイズとして共に関われる事柄を模索し、新年度へ向けてのシナリオを描きましょう。

(小原 記)



※ 山田公平理事年度がスタートいたします。

2023-24年度 区報第1号をごらんください

直接ダウンロードは

<https://www.ys->

[east.or.jp/app/download/11945029391/2023-](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-)

[2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500)

国際会長

ウルリック・ラウリドセン

7月は新しいリーダーを迎え、新年度の活動を開始する月です。

ここ数年、私たちは直前国際会長のキム博士の主題である「ヒールザワールド（世界を癒そう）」のもとで活動してきました。「ヒールザワールド」という言葉は、多くの人の耳には素晴らしい響きに聞こえるかもしれませんが、一方で、少し圧倒されるかもしれません。私たちは野心的であるべきですが、癒しとは、家族や友人、同僚、クラブの仲間に対するハグや 優しい感謝の言葉かもしれません。私たちは、世界中でたくさんのプロジェクトを行っています。その多くは、医療や精神的な支援という意味での癒しに焦点を当てたものですが、癒しは、高齢者が教会に通ったり、観光ツアーに出かけるのを手伝ったりといった単純な行為の形をとることもあります。貧しい人々やホームレスのために特別な日に食べ物を提供したり、恵まれない子供たちのために活動を企画したりすることも、癒しかもしれません。私たちは、常に他人のニーズに気を配り、助けるための最善の解決策を見つけるべきです。

持続可能な開発目標 (SDGs)： 平和と繁栄による世界の癒し 2015 年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、現在そして将来にわたって、人々と地球の平和と繁栄のための共通の青写真を提示しています。その中心にあるのは、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) であり、先進国も開発途上国も含めたすべての国々が、グローバルなパートナーシップのもとで行動を起こすための緊急の呼びかけです。

SDGs は、貧困やその他の困窮に終止符を打つには、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進する戦略と手を携えなければならないことを認識しています。(出典：17 の目標)

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) は、特に「ヒールザワールド」と「タイムオブファスト (TOF)」の取り組み、そして「ロールバックマラリア (RBM)」プロジェクトを通じたマラリア撲滅 への長期的な支援を通じて、国連の世界目標の多くに取り組んでいると結論づけることができます。また、目標 13 の「気候変動対策」についても考えていただきたいと思います。気候変動とその影響と闘うために、緊急に行動を起こしてください。YMI は、環境に責任を持つ組織であることを約束し、環境フットプリントを削減する責任を受け入れます。これは YMI の活動に参加する権利に付随する義務です。YMI は、指導者の移動に伴う CO2 排出量を相殺するプロジェクトに投資しています。クラブと YMCA は、温室効果ガスの排出を削減または排除するプロジェクトのための資金を申請することができます。資金申請や寄付による支援方法については、ウェブサイトをご覧ください。

☀️ YMCA 保育園ねがい ヒマワリ植え付け

6月26日(月) 暑い中、ガーデニングに来ていただき、本当にありがとうございました。

コロナの扱いが軽くなったとはいえ、保育園では今も他の感染症が流行し、体調を崩す子ども(大人も)が続いています。

今日も、職員の欠勤や早退者、入園見学の対応の中、本当にありがとうございました。

自由過ぎる！子ども達にお付き合いいただき、得難い異年齢交流であったと思います。

見学の方が Ys のお働きにとってもびっくりされて、喜んでおられました。

水やりを子どもたちと頑張り、花が咲くまで見守れたらと心から願っています。

次回の親子プログラムを楽しみにしています。

ありがとうございました。蒸し暑かったですね。曇りだったのが、まだ幸いでした。

(今井 世都 園長 記)



☀️ 下北沢音楽祭

みんなのうたごえサロン 2023

7月6日(木) 14:00 開演

北沢タウンホール

コロナ禍で途絶えていた、「みんなのうたごえサロン」童謡唱歌を歌う集いが、開催されました。

うたごえリーダー：

小川圭一君、

アシスタント：

武田清美さん、



ピアノ：

鈴木信子さん、
片岡幸江さん、
武藤栄子さん



歌いつぎたい日本の歌 100 選より、
季節の歌、外国の歌など、懐かしい歌を
ピアノ伴奏に合わせ、声高らかに。

☀ 会長通信 2307

新年度を迎えることが出来ました。感謝して、出来ることを進めてまいりたいと思います。

高齢化により、運動量は小さくなりますが、YMCA 運動の発展のために祈り続けましょう。

また、交流するワイズの楽しさも作り出していきたいものです。

(小川 記)

☀ YMCA NEWS

5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒨田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。

- 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、

新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任。

- 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。初回は、コロナ禍の影響や物価上昇等により経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち(小学生35人)を対象に7月27日～29日に「山中エンジョイキャンプ」を実施し、第二弾として外国にルーツのある子どもたち(小中学生25人)を対象に8月22日～24日に「サマーキャンプ2023」を実施する。なお、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
- 国立と経堂をエリアとした居場所事業では、新たな取り組みとして「外国にルーツのある子ども」を対象としたプログラムを展開する。夏には宿題サマースクール、キャンプをYWCAや一橋大学の大学院の協力を得ながら実施する。ボランティアに大学生や専門学校生だけでなく、高校生や社会人も加わり、ボランティアのつながりの強化も図っていく。

liby 報告

- 6月10日(土) liby おでかけで高尾山に行った。
- 6月 liby 食堂 9日「カレー」 23日「手作りパンとチリコンカン」を作った。食堂の日はリーダーとメンバーの参加人数は10名を超える。
- 7月21日(金)～9月5日(火)まで夏休みになります。

今後の主な行事日程

- 外国にルーツのある子どもたちの宿題サマースクール
7月26日(水)・8月9日(水)
13:30-16:00 国立(西東京センター)
7月27日(木)・8月2日(水)17日(木)
13:30-16:00 経堂(南センター)
- 外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ
8月22日(火)～24日(木) 山中湖センター
- 「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場：インド・チェンナイ
- 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン)：
9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン)：
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園)：9月23日



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための 光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！」
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川 恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」
「心を尽くしてYMCAのために」

今井 武彦 (東京むかで)
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年7月会報

強調 テーマ

キックオフ・P R

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 押山 愛紀子

↑今月の聖句

主は羊飼い、私には何も欠けることがない。
主はわたしを青草の原に休ませ
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。

The LORD Our shepherd;
I have everything I need.
He lets me rest in fields of green grass
And leads me to quiet pools of fresh water.
He gives me new strength.
He guides me in the right paths,
As he has promised.

旧約聖書 詩編 23:1-3 (寺門 選)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 司会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | |
| 5. 会食 | |
| 6. 東新部 部長訪問 | |
| | 今井 武彦 東新部部長 (東京むかでクラブ) |
| 7. ハッピーバースデー | 7/1 松井百合子さん |
| | 7/22 小川 圭一 君 |
| 6. 8. 結婚記念日 | ありません |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 7月 例会 プログラム

とき 令和5年7月21日(金) 19:00~21:00
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

6月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者	6月16日(金)	6月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	83%	会員	10名	切手	6月 7,020円
	第2例会		メネット	0名	現金	年度計 62,621円
	6月22日		イキャップ	0名	累計切手	
	YMCAすずらん会		ゲスト	1名		
			ビジター	6名		
			合計	17名		
			すずらん会 再開			
			ゲスト	6名		
			スタッフ	6名		
			合計	12名		

2022~2023年度
自主献金については
今期もクラブからの
献金としました

本日のメインプログラム

今井武彦 東新部部長訪問

今こそ、ワイズメンズクラブは、時代の変化の要請にこたえて、変わらなければなりません。東新部では、2022年-2023年度のALL 東新部始動の主題を引き継ぎ 2023年-2024年度の部主題は「ALL 東新部、継続・発展！」といたします。即ち、ワイズとYMCAが協調し、YMCAを含めたユース世代への働きかけを強め、ユース・エンパワメントを輝かせ、次世代にワイズとYMCAへの将来の希望を示すことです。

出席予定の方々：今井武彦 部長 伊丹一之 書記
比奈地康晴 国際・交流事業主査
加藤義孝 会員増強事業主査
神保伊和雄 部大会実行委員長

※ 6月例会報告

居場所事業「liby」の現状と課題

東京YMCA南センター liby 担当 押山 愛紀子 氏



卓話要旨

- 現在のlibyはスタッフ1名となり、事業を担っています。
1事業部所から事業へと変更し、南居場所事業となりました。
- libyメンバー、サポートリーダーと共に活動をし、liby日記を作成し、活動を紹介。
- 居場所事業として出来ることは？
南居場所、西居場所と両所で連携し、できる事柄から。
- ボランティア募集をactivo(アクティボ)サイトを活用して。
- YMCAイチゴの部屋(日本語・学習支援)を参考にチラシ作成を。
高校生のボランティアは「YMCA 保育園ねがい」と連携できるか模索中。

- 南センターでのリーダー登録はほぼ30名、夏キャンプ、特別な活動などで。
- 学生ボランティアが150名余りという盛岡YMCAを訪ねて、活動の参考に。
若者は活動題材を求めている。リソースととらえて。
- 南センターの担当スタッフは一人でも皆で支え合い活動できる方法を。
学童保育にリーダーが参加し、支えるリーダーが多くなるのでは。

新たな課題に取り組んでいる押山愛紀子さんにお話を頂き、ワイズとして共に関われる事柄を模索し、新年度へ向けてのシナリオを描きましょう。

(小原 記)



※ 山田公平理事年度がスタートいたします。

2023-24年度 区報第1号をごらんください

直接ダウンロードは

<https://www.ys->

[east.or.jp/app/download/11945029391/2023-](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-)

[2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500)

国際会長

ウルリック・ラウリドセン

7月は新しいリーダーを迎え、新年度の活動を開始する月です。

ここ数年、私たちは直前国際会長のキム博士の主題である「ヒールザワールド（世界を癒そう）」のもとで活動してきました。「ヒールザワールド」という言葉は、多くの人の耳には素晴らしい響きに聞こえるかもしれませんが、一方で、少し圧倒されるかもしれません。私たちは野心的であるべきですが、癒しとは、家族や友人、同僚、クラブの仲間に対するハグや 優しい感謝の言葉かもしれません。私たちは、世界中でたくさんのプロジェクトを行っています。その多くは、医療や精神的な支援という意味での癒しに焦点を当てたものですが、癒しは、高齢者が教会に通ったり、観光ツアーに出かけるのを手伝ったりといった単純な行為の形をとることもあります。貧しい人々やホームレスのために特別な日に食べ物を提供したり、恵まれない子供たちのために活動を企画したりすることも、癒しかもしれません。私たちは、常に他人のニーズに気を配り、助けるための最善の解決策を見つけるべきです。

持続可能な開発目標 (SDGs)： 平和と繁栄による世界の癒し 2015 年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、現在そして将来にわたって、人々と地球の平和と繁栄のための共通の青写真を提示しています。その中心にあるのは、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) であり、先進国も開発途上国も含めたすべての国々が、グローバルなパートナーシップのもとで行動を起こすための緊急の呼びかけです。

SDGs は、貧困やその他の困窮に終止符を打つには、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進する戦略と手を携えなければならないことを認識しています。(出典：17 の目標)

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) は、特に「ヒールザワールド」と「タイムオブファスト (TOF)」の取り組み、そして「ロールバックマラリア (RBM)」プロジェクトを通じたマラリア撲滅 への長期的な支援を通じて、国連の世界目標の多くに取り組んでいると結論づけることができます。また、目標 13 の「気候変動対策」についても考えていただきたいと思います。気候変動とその影響と闘うために、緊急に行動を起こしてください。YMI は、環境に責任を持つ組織であることを約束し、環境フットプリントを削減する責任を受け入れます。これは YMI の活動に参加する権利に付随する義務です。YMI は、指導者の移動に伴う CO2 排出量を相殺するプロジェクトに投資しています。クラブと YMCA は、温室効果ガスの排出を削減または排除するプロジェクトのための資金を申請することができます。資金申請や寄付による支援方法については、ウェブサイトをご覧ください。

☀️ YMCA 保育園ねがい ヒマワリ植え付け

6月26日(月) 暑い中、ガーデニングに来ていただき、本当にありがとうございました。

コロナの扱いが軽くなったとはいえ、保育園では今も他の感染症が流行し、体調を崩す子ども(大人も)が続いています。

今日も、職員の欠勤や早退者、入園見学の対応の中、本当にありがとうございました。

自由過ぎる！子ども達にお付き合いいただき、得難い異年齢交流であったと思います。

見学の方が Ys のお働きにとってもびっくりされて、喜んでおられました。

水やりを子どもたちと頑張り、花が咲くまで見守れたらと心から願っています。

次回の親子プログラムを楽しみにしています。

ありがとうございました。蒸し暑かったですね。曇りだったのが、まだ幸いでした。

(今井 世都 園長 記)



☀️ 下北沢音楽祭

みんなのうたごえサロン 2023

7月6日(木) 14:00 開演

北沢タウンホール

コロナ禍で途絶えていた、「みんなのうたごえサロン」童謡唱歌を歌う集いが、開催されました。

うたごえリーダー：

小川圭一君、

アシスタント：

武田清美さん、



ピアノ：

鈴木信子さん、
片岡幸江さん、
武藤栄子さん



歌いつぎたい日本の歌 100 選より、
季節の歌、外国の歌など、懐かしい歌を
ピアノ伴奏に合わせ、声高らかに。

☀ 会長通信 2307

新年度を迎えることが出来ました。感謝して、出来ることを進めてまいりたいと思います。

高齢化により、運動量は小さくなりますが、YMCA 運動の発展のために祈り続けましょう。

また、交流するワイズの楽しさも作り出していきたいものです。

(小川 記)

☀ YMCA NEWS

5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。

- 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、

新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任。

- 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。初回は、コロナ禍の影響や物価上昇等により経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち(小学生35人)を対象に7月27日～29日に「山中エンジョイキャンプ」を実施し、第二弾として外国にルーツのある子どもたち(小中学生25人)を対象に8月22日～24日に「サマーキャンプ2023」を実施する。なお、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
- 国立と経堂をエリアとした居場所事業では、新たな取り組みとして「外国にルーツのある子ども」を対象としたプログラムを展開する。夏には宿題サマースクール、キャンプをYWCAや一橋大学の大学院の協力を得ながら実施する。ボランティアに大学生や専門学校生だけでなく、高校生や社会人も加わり、ボランティアのつながりの強化も図っていく。

liby 報告

- 6月10日(土) liby おでかけで高尾山に行った。
- 6月 liby 食堂 9日「カレー」 23日「手作りパンとチリコンカン」を作った。食堂の日はリーダーとメンバーの参加人数は10名を超える。
- 7月21日(金)～9月5日(火)まで夏休みになります。

今後の主な行事日程

- 外国にルーツのある子どもたちの宿題サマースクール
7月26日(水)・8月9日(水)
13:30-16:00 国立(西東京センター)
7月27日(木)・8月2日(水)17日(木)
13:30-16:00 経堂(南センター)
- 外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ
8月22日(火)～24日(木) 山中湖センター
- 「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場：インド・チェンナイ
- 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン)：
9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン)：
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園)：9月23日



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための 光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！」
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川 恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」
「心を尽くしてYMCAのために」

今井 武彦 (東京むかで)
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年7月会報

強調 テーマ

キックオフ・P R

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 押山 愛紀子

↑今月の聖句

主は羊飼い、私には何も欠けることがない。
主はわたしを青草の原に休ませ
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。

The LORD Our shepherd;
I have everything I need.
He lets me rest in fields of green grass
And leads me to quiet pools of fresh water.
He gives me new strength.
He guides me in the right paths,
As he has promised.

旧約聖書 詩編 23:1-3 (寺門 選)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 司会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | |
| 5. 会食 | |
| 6. 東新部 部長訪問 | |
| | 今井 武彦 東新部部長 (東京むかでクラブ) |
| 7. ハッピーバースデー | 7/1 松井百合子さん |
| | 7/22 小川 圭一 君 |
| 6. 8. 結婚記念日 | ありません |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 7月 例会 プログラム

とき 令和5年7月21日(金) 19:00~21:00
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

6月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者	6月16日(金)	6月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	83%	会員	10名	切手	6月 7,020円
	第2例会		メネット	0名	現金	年度計 62,621円
	6月22日		イキャップ	0名	累計切手	
	YMCAすずらん会		ゲスト	1名		
			ビジター	6名		
			合計	17名		
			すずらん会 再開			
			ゲスト	6名		
			スタッフ	6名		
			合計	12名		

2022~2023年度
自主献金については
今期もクラブからの
献金としました

本日のメインプログラム

今井武彦 東新部部長訪問

今こそ、ワイズメンズクラブは、時代の変化の要請にこたえて、変わらなければなりません。東新部では、2022年-2023年度のALL 東新部始動の主題を引き継ぎ 2023年-2024年度の部主題は「ALL 東新部、継続・発展!」といたします。即ち、ワイズとYMCAが協調し、YMCAを含めたユース世代への働きかけを強め、ユース・エンパワメントを輝かせ、次世代にワイズとYMCAへの将来の希望を示すことです。

出席予定の方々：今井武彦 部長 伊丹一之 書記
比奈地康晴 国際・交流事業主査
加藤義孝 会員増強事業主査
神保伊和雄 部大会実行委員長

※ 6月例会報告

居場所事業「liby」の現状と課題

東京YMCA南センター liby 担当 押山 愛紀子 氏



卓話要旨

- 現在のlibyはスタッフ1名となり、事業を担っています。
1事業部所から事業へと変更し、南居場所事業となりました。
- libyメンバー、サポートリーダーと共に活動をし、liby日記を作成し、活動を紹介。
- 居場所事業として出来ることは？
南居場所、西居場所と両所で連携し、できる事柄から。
- ボランティア募集をactivo(アクティボ)サイトを活用して。
- YMCAイチゴの部屋(日本語・学習支援)を参考にチラシ作成を。
高校生のボランティアは「YMCA 保育園ねがい」と連携できるか模索中。

- 南センターでのリーダー登録はほぼ30名、夏キャンプ、特別な活動などで。
- 学生ボランティアが150名余りという盛岡YMCAを訪ねて、活動の参考に。
若者は活動題材を求めている。リソースととらえて。
- 南センターの担当スタッフは一人でも皆で支え合い活動できる方法を。
学童保育にリーダーが参加し、支えるリーダーが多くなるのでは。

新たな課題に取り組んでいる押山愛紀子さんにお話を頂き、ワイズとして共に関われる事柄を模索し、新年度へ向けてのシナリオを描きましょう。

(小原 記)



※ 山田公平理事年度がスタートいたします。

2023-24年度 区報第1号をごらんください

直接ダウンロードは

<https://www.ys->

[east.or.jp/app/download/11945029391/2023-](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-)

[2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500)

国際会長

ウルリック・ラウリドセン

7月は新しいリーダーを迎え、新年度の活動を開始する月です。

ここ数年、私たちは直前国際会長のキム博士の主題である「ヒールザワールド（世界を癒そう）」のもとで活動してきました。「ヒールザワールド」という言葉は、多くの人の耳には素晴らしい響きに聞こえるかもしれませんが、一方で、少し圧倒されるかもしれません。私たちは野心的であるべきですが、癒しとは、家族や友人、同僚、クラブの仲間に対するハグや 優しい感謝の言葉かもしれません。私たちは、世界中でたくさんのプロジェクトを行っています。その多くは、医療や精神的な支援という意味での癒しに焦点を当てたものですが、癒しは、高齢者が教会に通ったり、観光ツアーに出かけるのを手伝ったりといった単純な行為の形をとることもあります。貧しい人々やホームレスのために特別な日に食べ物を提供したり、恵まれない子供たちのために活動を企画したりすることも、癒しかもしれません。私たちは、常に他人のニーズに気を配り、助けるための最善の解決策を見つけるべきです。

持続可能な開発目標 (SDGs)： 平和と繁栄による世界の癒し 2015 年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、現在そして将来にわたって、人々と地球の平和と繁栄のための共通の青写真を提示しています。その中心にあるのは、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) であり、先進国も開発途上国も含めたすべての国々が、グローバルなパートナーシップのもとで行動を起こすための緊急の呼びかけです。

SDGs は、貧困やその他の困窮に終止符を打つには、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進する戦略と手を携えなければならないことを認識しています。(出典：17 の目標)

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) は、特に「ヒールザワールド」と「タイムオブファスト (TOF)」の取り組み、そして「ロールバックマラリア (RBM)」プロジェクトを通じたマラリア撲滅 への長期的な支援を通じて、国連の世界目標の多くに取り組んでいると結論づけることができます。また、目標 13 の「気候変動対策」についても考えていただきたいと思います。気候変動とその影響と闘うために、緊急に行動を起こしてください。YMI は、環境に責任を持つ組織であることを約束し、環境フットプリントを削減する責任を受け入れます。これは YMI の活動に参加する権利に付随する義務です。YMI は、指導者の移動に伴う CO2 排出量を相殺するプロジェクトに投資しています。クラブと YMCA は、温室効果ガスの排出を削減または排除するプロジェクトのための資金を申請することができます。資金申請や寄付による支援方法については、ウェブサイトをご覧ください。

☀️ YMCA 保育園ねがい ヒマワリ植え付け

6月26日(月) 暑い中、ガーデニングに来ていただき、本当にありがとうございました。

コロナの扱いが軽くなったとはいえ、保育園では今も他の感染症が流行し、体調を崩す子ども(大人も)が続いています。

今日も、職員の欠勤や早退者、入園見学の対応の中、本当にありがとうございました。

自由過ぎる！子ども達にお付き合いいただき、得難い異年齢交流であったと思います。

見学の方が Ys のお働きにとってもびっくりされて、喜んでおられました。

水やりを子どもたちと頑張り、花が咲くまで見守れたらと心から願っています。

次回の親子プログラムを楽しみにしています。

ありがとうございました。蒸し暑かったですね。曇りだったのが、まだ幸いでした。

(今井 世都 園長 記)



☀️ 下北沢音楽祭

みんなのうたごえサロン 2023

7月6日(木) 14:00 開演

北沢タウンホール

コロナ禍で途絶えていた、「みんなのうたごえサロン」童謡唱歌を歌う集いが、開催されました。

うたごえリーダー：

小川圭一君、

アシスタント：

武田清美さん、



ピアノ：

鈴木信子さん、
片岡幸江さん、
武藤栄子さん



歌いつぎたい日本の歌 100 選より、
季節の歌、外国の歌など、懐かしい歌を
ピアノ伴奏に合わせ、声高らかに。

☀ 会長通信 2307

新年度を迎えることが出来ました。感謝して、出来ることを進めてまいりたいと思います。

高齢化により、運動量は小さくなりますが、YMCA 運動の発展のために祈り続けましょう。

また、交流するワイズの楽しさも作り出していきたいものです。

(小川 記)

☀ YMCA NEWS

5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。

- 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、

新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任。

- 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。初回は、コロナ禍の影響や物価上昇等により経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち(小学生35人)を対象に7月27日～29日に「山中エンジョイキャンプ」を実施し、第二弾として外国にルーツのある子どもたち(小中学生25人)を対象に8月22日～24日に「サマーキャンプ2023」を実施する。なお、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
- 国立と経堂をエリアとした居場所事業では、新たな取り組みとして「外国にルーツのある子ども」を対象としたプログラムを展開する。夏には宿題サマースクール、キャンプをYWCAや一橋大学の大学院の協力を得ながら実施する。ボランティアに大学生や専門学校生だけでなく、高校生や社会人も加わり、ボランティアのつながりの強化も図っていく。

liby 報告

- 6月10日(土) liby おでかけで高尾山に行った。
- 6月 liby 食堂 9日「カレー」 23日「手作りパンとチリコンカン」を作った。食堂の日はリーダーとメンバーの参加人数は10名を超える。
- 7月21日(金)～9月5日(火)まで夏休みになります。

今後の主な行事日程

- 外国にルーツのある子どもたちの宿題サマースクール
7月26日(水)・8月9日(水)
13:30-16:00 国立(西東京センター)
7月27日(木)・8月2日(水)17日(木)
13:30-16:00 経堂(南センター)
- 外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ
8月22日(火)～24日(木) 山中湖センター
- 「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場：インド・チェンナイ
- 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン)：
9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン)：
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園)：9月23日



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための 光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！」
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川 恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」
「心を尽くしてYMCAのために」

今井 武彦 (東京むかで)
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年7月会報

強調 テーマ

キックオフ・P R

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 押山 愛紀子

↑今月の聖句

主は羊飼い、私には何も欠けることがない。
主はわたしを青草の原に休ませ
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。

The LORD Our shepherd;
I have everything I need.
He lets me rest in fields of green grass
And leads me to quiet pools of fresh water.
He gives me new strength.
He guides me in the right paths,
As he has promised.

旧約聖書 詩編 23:1-3 (寺門 選)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 司会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | |
| 5. 会食 | |
| 6. 東新部 部長訪問 | |
| | 今井 武彦 東新部部長 (東京むかでクラブ) |
| 7. ハッピーバースデー | 7/1 松井百合子さん |
| | 7/22 小川 圭一 君 |
| 6. 8. 結婚記念日 | ありません |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 7月 例会 プログラム

とき 令和5年7月21日(金) 19:00~21:00
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

6月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者	6月16日(金)	6月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	83%	会員	10名	切手	6月 7,020円
	第2例会		メネット	0名	現金	年度計 62,621円
	6月22日		イキャップ	0名	累計切手	
	YMCAすずらん会		ゲスト	1名		
			ビジター	6名		
			合計	17名		
			すずらん会 再開			
			ゲスト	6名		
			スタッフ	6名		
			合計	12名		

2022~2023年度
自主献金については
今期もクラブからの
献金としました

本日のメインプログラム

今井武彦 東新部部長訪問

今こそ、ワイズメンズクラブは、時代の変化の要請にこたえて、変わらなければなりません。東新部では、2022年-2023年度のALL 東新部始動の主題を引き継ぎ 2023年-2024年度の部主題は「ALL 東新部、継続・発展!」といたします。即ち、ワイズとYMCAが協調し、YMCAを含めたユース世代への働きかけを強め、ユース・エンパワメントを輝かせ、次世代にワイズとYMCAへの将来の希望を示すことです。

出席予定の方々：今井武彦 部長 伊丹一之 書記
比奈地康晴 国際・交流事業主査
加藤義孝 会員増強事業主査
神保伊和雄 部大会実行委員長

※ 6月例会報告

居場所事業「liby」の現状と課題

東京YMCA南センター liby 担当 押山 愛紀子 氏



卓話要旨

- 現在のlibyはスタッフ1名となり、事業を担っています。
1事業部所から事業へと変更し、南居場所事業となりました。
- libyメンバー、サポートリーダーと共に活動をし、liby日記を作成し、活動を紹介。
- 居場所事業として出来ることは？
南居場所、西居場所と両所で連携し、できる事柄から。
- ボランティア募集をactivo(アクティボ)サイトを活用して。
- YMCAイチゴの部屋(日本語・学習支援)を参考にチラシ作成を。
高校生のボランティアは「YMCA 保育園ねがい」と連携できるか模索中。

- 南センターでのリーダー登録はほぼ30名、夏キャンプ、特別な活動などで。
- 学生ボランティアが150名余りという盛岡YMCAを訪ねて、活動の参考に。
若者は活動題材を求めている。リソースととらえて。
- 南センターの担当スタッフは一人でも皆で支え合い活動できる方法を。
学童保育にリーダーが参加し、支えるリーダーが多くなるのでは。

新たな課題に取り組んでいる押山愛紀子さんにお話を頂き、ワイズとして共に関われる事柄を模索し、新年度へ向けてのシナリオを描きましょう。

(小原 記)



※ 山田公平理事年度がスタートいたします。

2023-24年度 区報第1号をごらんください

直接ダウンロードは

<https://www.ys->

[east.or.jp/app/download/11945029391/2023-](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-)

[2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500)

国際会長

ウルリック・ラウリドセン

7月は新しいリーダーを迎え、新年度の活動を開始する月です。

ここ数年、私たちは直前国際会長のキム博士の主題である「ヒールザワールド（世界を癒そう）」のもとで活動してきました。「ヒールザワールド」という言葉は、多くの人の耳には素晴らしい響きに聞こえるかもしれませんが、一方で、少し圧倒されるかもしれません。私たちは野心的であるべきですが、癒しとは、家族や友人、同僚、クラブの仲間に対するハグや 優しい感謝の言葉かもしれません。私たちは、世界中でたくさんのプロジェクトを行っています。その多くは、医療や精神的な支援という意味での癒しに焦点を当てたものですが、癒しは、高齢者が教会に通ったり、観光ツアーに出かけるのを手伝ったりといった単純な行為の形をとることもあります。貧しい人々やホームレスのために特別な日に食べ物を提供したり、恵まれない子供たちのために活動を企画したりすることも、癒しかもしれません。私たちは、常に他人のニーズに気を配り、助けるための最善の解決策を見つけるべきです。

持続可能な開発目標 (SDGs)： 平和と繁栄による世界の癒し 2015 年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、現在そして将来にわたって、人々と地球の平和と繁栄のための共通の青写真を提示しています。その中心にあるのは、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) であり、先進国も開発途上国も含めたすべての国々が、グローバルなパートナーシップのもとで行動を起こすための緊急の呼びかけです。

SDGs は、貧困やその他の困窮に終止符を打つには、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進する戦略と手を携えなければならないことを認識しています。(出典：17 の目標)

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) は、特に「ヒールザワールド」と「タイムオブファスト (TOF)」の取り組み、そして「ロールバックマラリア (RBM)」プロジェクトを通じたマラリア撲滅 への長期的な支援を通じて、国連の世界目標の多くに取り組んでいると結論づけることができます。また、目標 13 の「気候変動対策」についても考えていただきたいと思います。気候変動とその影響と闘うために、緊急に行動を起こしてください。YMI は、環境に責任を持つ組織であることを約束し、環境フットプリントを削減する責任を受け入れます。これは YMI の活動に参加する権利に付随する義務です。YMI は、指導者の移動に伴う CO2 排出量を相殺するプロジェクトに投資しています。クラブと YMCA は、温室効果ガスの排出を削減または排除するプロジェクトのための資金を申請することができます。資金申請や寄付による支援方法については、ウェブサイトをご覧ください。

☀️ YMCA 保育園ねがい ヒマワリ植え付け

6月26日(月) 暑い中、ガーデニングに来ていただき、本当にありがとうございました。

コロナの扱いが軽くなったとはいえ、保育園では今も他の感染症が流行し、体調を崩す子ども(大人も)が続いています。

今日も、職員の欠勤や早退者、入園見学の対応の中、本当にありがとうございました。

自由過ぎる！子ども達にお付き合いいただき、得難い異年齢交流であったと思います。

見学の方が Ys のお働きにとってもびっくりされて、喜んでおられました。

水やりを子どもたちと頑張り、花が咲くまで見守れたらと心から願っています。

次回の親子プログラムを楽しみにしています。

ありがとうございました。蒸し暑かったですね。曇りだったのが、まだ幸いでした。

(今井 世都 園長 記)



☀️ 下北沢音楽祭

みんなのうたごえサロン 2023

7月6日(木) 14:00 開演

北沢タウンホール

コロナ禍で途絶えていた、「みんなのうたごえサロン」童謡唱歌を歌う集いが、開催されました。

うたごえリーダー：

小川圭一君、

アシスタント：

武田清美さん、



ピアノ：

鈴木信子さん、
片岡幸江さん、
武藤栄子さん



歌いつぎたい日本の歌 100 選より、
季節の歌、外国の歌など、懐かしい歌を
ピアノ伴奏に合わせ、声高らかに。

☀ 会長通信 2307

新年度を迎えることが出来ました。感謝して、出来ることを進めてまいりたいと思います。

高齢化により、運動量は小さくなりますが、YMCA 運動の発展のために祈り続けましょう。

また、交流するワイズの楽しさも作り出していきたいものです。

(小川 記)

☀ YMCA NEWS

5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。

- 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、

新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任。

- 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。初回は、コロナ禍の影響や物価上昇等により経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち(小学生35人)を対象に7月27日～29日に「山中エンジョイキャンプ」を実施し、第二弾として外国にルーツのある子どもたち(小中学生25人)を対象に8月22日～24日に「サマーキャンプ2023」を実施する。なお、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
- 国立と経堂をエリアとした居場所事業では、新たな取り組みとして「外国にルーツのある子ども」を対象としたプログラムを展開する。夏には宿題サマースクール、キャンプをYWCAや一橋大学の大学院の協力を得ながら実施する。ボランティアに大学生や専門学校生だけでなく、高校生や社会人も加わり、ボランティアのつながりの強化も図っていく。

liby 報告

- 6月10日(土) liby おでかけで高尾山に行った。
- 6月 liby 食堂 9日「カレー」 23日「手作りパンとチリコンカン」を作った。食堂の日はリーダーとメンバーの参加人数は10名を超える。
- 7月21日(金)～9月5日(火)まで夏休みになります。

今後の主な行事日程

- 外国にルーツのある子どもたちの宿題サマースクール
7月26日(水)・8月9日(水)
13:30-16:00 国立(西東京センター)
7月27日(木)・8月2日(水)17日(木)
13:30-16:00 経堂(南センター)
- 外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ
8月22日(火)～24日(木) 山中湖センター
- 「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場：インド・チェンナイ
- 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン)：
9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン)：
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園)：9月23日



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための 光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！」
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川 恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」
「心を尽くしてYMCAのために」

今井 武彦 (東京むかで)
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年7月会報

強調 テーマ

キックオフ・P R

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 押山 愛紀子

↑今月の聖句

主は羊飼い、私には何も欠けることがない。
主はわたしを青草の原に休ませ
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。

The LORD Our shepherd;
I have everything I need.
He lets me rest in fields of green grass
And leads me to quiet pools of fresh water.
He gives me new strength.
He guides me in the right paths,
As he has promised.

旧約聖書 詩編 23:1-3 (寺門 選)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 司会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | |
| 5. 会食 | |
| 6. 東新部 部長訪問 | |
| | 今井 武彦 東新部部長 (東京むかでクラブ) |
| 7. ハッピーバースデー | 7/1 松井百合子さん |
| | 7/22 小川 圭一 君 |
| 6. 8. 結婚記念日 | ありません |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 7月 例会 プログラム

とき 令和5年7月21日(金) 19:00~21:00
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

6月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者	6月16日(金)	6月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	83%	会員	10名	切手	0g
	第2例会		メネット	0名	現金	0円
	6月22日		イキャップ	0名	累計切手	0g
	YMCAすずらん会		ゲスト	1名		
			ビジター	6名		
			合計	17名		
			すずらん会 再開			
			ゲスト	6名		
			スタッフ	6名		
			合計	12名		
					2022~2023年度 自主献金については 今期もクラブからの 献金としました	
						6月 7,020円
						年度計 62,621円

本日のメインプログラム

今井武彦 東新部部長訪問

今こそ、ワイズメンズクラブは、時代の変化の要請にこたえて、変わらなければなりません。東新部では、2022年-2023年度のALL 東新部始動の主題を引き継ぎ 2023年-2024年度の部主題は「ALL 東新部、継続・発展！」といたします。即ち、ワイズとYMCAが協調し、YMCAを含めたユース世代への働きかけを強め、ユース・エンパワメントを輝かせ、次世代にワイズとYMCAへの将来の希望を示すことです。

出席予定の方々：今井武彦 部長 伊丹一之 書記
比奈地康晴 国際・交流事業主査
加藤義孝 会員増強事業主査
神保伊和雄 部大会実行委員長

※ 6月例会報告

居場所事業「liby」の現状と課題

東京YMCA南センター liby 担当 押山 愛紀子 氏



卓話要旨

- 現在のlibyはスタッフ1名となり、事業を担っています。
1事業部所から事業へと変更し、南居場所事業となりました。
- libyメンバー、サポートリーダーと共に活動をし、liby日記を作成し、活動を紹介。
- 居場所事業として出来ることは？
南居場所、西居場所と両所で連携し、できる事柄から。
- ボランティア募集をactivo(アクティボ)サイトを活用して。
- YMCAイチゴの部屋(日本語・学習支援)を参考にチラシ作成を。
高校生のボランティアは「YMCA 保育園ねがい」と連携できるか模索中。

- 南センターでのリーダー登録はほぼ30名、夏キャンプ、特別な活動などで。
- 学生ボランティアが150名余りという盛岡YMCAを訪ねて、活動の参考に。
若者は活動題材を求めている。リソースととらえて。
- 南センターの担当スタッフは一人でも皆で支え合い活動できる方法を。
学童保育にリーダーが参加し、支えるリーダーが多くなるのでは。

新たな課題に取り組んでいる押山愛紀子さんにお話を頂き、ワイズとして共に関われる事柄を模索し、新年度へ向けてのシナリオを描きましょう。

(小原 記)



※ 山田公平理事年度がスタートいたします。

2023-24年度 区報第1号をごらんください

直接ダウンロードは

<https://www.yseast.or.jp/app/download/11945029391/2023-2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500>

国際会長

ウルリック・ラウリドセン

7月は新しいリーダーを迎え、新年度の活動を開始する月です。

ここ数年、私たちは直前国際会長のキム博士の主題である「ヒールザワールド（世界を癒そう）」のもとで活動してきました。「ヒールザワールド」という言葉は、多くの人の耳には素晴らしい響きに聞こえるかもしれませんが、一方で、少し圧倒されるかもしれません。私たちは野心的であるべきですが、癒しとは、家族や友人、同僚、クラブの仲間に対するハグや 優しい感謝の言葉かもしれません。私たちは、世界中でたくさんのプロジェクトを行っています。その多くは、医療や精神的な支援という意味での癒しに焦点を当てたものですが、癒しは、高齢者が教会に通ったり、観光ツアーに出かけるのを手伝ったりといった単純な行為の形をとることもあります。貧しい人々やホームレスのために特別な日に食べ物を提供したり、恵まれない子供たちのために活動を企画したりすることも、癒しかもしれません。私たちは、常に他人のニーズに気を配り、助けるための最善の解決策を見つけるべきです。

持続可能な開発目標 (SDGs)： 平和と繁栄による世界の癒し 2015 年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、現在そして将来にわたって、人々と地球の平和と繁栄のための共通の青写真を提示しています。その中心にあるのは、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) であり、先進国も開発途上国も含めたすべての国々が、グローバルなパートナーシップのもとで行動を起こすための緊急の呼びかけです。

SDGs は、貧困やその他の困窮に終止符を打つには、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進する戦略と手を携えなければならないことを認識しています。(出典：17 の目標)

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) は、特に「ヒールザワールド」と「タイムオブファスト (TOF)」の取り組み、そして「ロールバックマラリア (RBM)」プロジェクトを通じたマラリア撲滅 への長期的な支援を通じて、国連の世界目標の多くに取り組んでいると結論づけることができます。また、目標 13 の「気候変動対策」についても考えていただきたいと思います。気候変動とその影響と闘うために、緊急に行動を起こしてください。YMI は、環境に責任を持つ組織であることを約束し、環境フットプリントを削減する責任を受け入れます。これは YMI の活動に参加する権利に付随する義務です。YMI は、指導者の移動に伴う CO2 排出量を相殺するプロジェクトに投資しています。クラブと YMCA は、温室効果ガスの排出を削減または排除するプロジェクトのための資金を申請することができます。資金申請や寄付による支援方法については、ウェブサイトをご覧ください。

☀️ YMCA 保育園ねがい ヒマワリ植え付け

6月26日(月) 暑い中、ガーデニングに来ていただき、本当にありがとうございました。

コロナの扱いが軽くなったとはいえ、保育園では今も他の感染症が流行し、体調を崩す子ども(大人も)が続いています。

今日も、職員の欠勤や早退者、入園見学の対応の中、本当にありがとうございました。

自由過ぎる！子ども達にお付き合いいただき、得難い異年齢交流であったと思います。

見学の方が Ys のお働きにとってもびっくりされて、喜んでおられました。

水やりを子どもたちと頑張り、花が咲くまで見守れたらと心から願っています。

次回の親子プログラムを楽しみにしています。

ありがとうございました。蒸し暑かったですね。曇りだったのが、まだ幸いでした。

(今井 世都 園長 記)



☀️ 下北沢音楽祭

みんなのうたごえサロン 2023

7月6日(木) 14:00 開演

北沢タウンホール

コロナ禍で途絶えていた、「みんなのうたごえサロン」童謡唱歌を歌う集いが、開催されました。

うたごえリーダー：

小川圭一君、

アシスタント：

武田清美さん、



ピアノ：

鈴木信子さん、
片岡幸江さん、
武藤栄子さん



歌いつぎたい日本の歌 100 選より、
季節の歌、外国の歌など、懐かしい歌を
ピアノ伴奏に合わせ、声高らかに。

☀ 会長通信 2307

新年度を迎えることが出来ました。感謝して、出来ることを進めてまいりたいと思います。

高齢化により、運動量は小さくなりますが、YMCA 運動の発展のために祈り続けましょう。

また、交流するワイズの楽しさも作り出していきたいものです。

(小川 記)

☀ YMCA NEWS

5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。

- 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、

新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任。

- 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。初回は、コロナ禍の影響や物価上昇等により経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち(小学生35人)を対象に7月27日～29日に「山中エンジョイキャンプ」を実施し、第二弾として外国にルーツのある子どもたち(小中学生25人)を対象に8月22日～24日に「サマーキャンプ2023」を実施する。なお、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
- 国立と経堂をエリアとした居場所事業では、新たな取り組みとして「外国にルーツのある子ども」を対象としたプログラムを展開する。夏には宿題サマースクール、キャンプをYWCAや一橋大学の大学院の協力を得ながら実施する。ボランティアに大学生や専門学校生だけでなく、高校生や社会人も加わり、ボランティアのつながりの強化も図っていく。

liby 報告

- 6月10日(土) liby おでかけで高尾山に行った。
- 6月 liby 食堂 9日「カレー」 23日「手作りパンとチリコンカン」を作った。食堂の日はリーダーとメンバーの参加人数は10名を超える。
- 7月21日(金)～9月5日(火)まで夏休みになります。

今後の主な行事日程

- 外国にルーツのある子どもたちの宿題サマースクール
7月26日(水)・8月9日(水)
13:30-16:00 国立(西東京センター)
7月27日(木)・8月2日(水)17日(木)
13:30-16:00 経堂(南センター)
- 外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ
8月22日(火)～24日(木) 山中湖センター
- 「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場：インド・チェンナイ
- 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン)：
9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン)：
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園)：9月23日



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための 光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！」
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川 恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」
「心を尽くしてYMCAのために」

今井 武彦 (東京むかで)
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年7月会報

強調 テーマ

キックオフ・P R

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 押山 愛紀子

↑今月の聖句

主は羊飼い、私には何も欠けることがない。
主はわたしを青草の原に休ませ
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。

The LORD Our shepherd;
I have everything I need.
He lets me rest in fields of green grass
And leads me to quiet pools of fresh water.
He gives me new strength.
He guides me in the right paths,
As he has promised.

旧約聖書 詩編 23:1-3 (寺門 選)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 司会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | |
| 5. 会食 | |
| 6. 東新部 部長訪問 | |
| | 今井 武彦 東新部部長 (東京むかでクラブ) |
| 7. ハッピーバースデー | 7/1 松井百合子さん |
| | 7/22 小川 圭一 君 |
| 6. 8. 結婚記念日 | ありません |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 7月 例会 プログラム

とき 令和5年7月21日(金) 19:00~21:00
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

6月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者	6月16日(金)	6月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	83%	会員	10名	切手	6月 7,020円
	第2例会		メネット	0名	現金	年度計 62,621円
	6月22日		イキャップ	0名	累計切手	
	YMCAすずらん会		ゲスト	1名		
			ビジター	6名		
			合計	17名		
			すずらん会 再開			
			ゲスト	6名		
			スタッフ	6名		
			合計	12名		

2022~2023年度
自主献金については
今期もクラブからの
献金としました

本日のメインプログラム

今井武彦 東新部部長訪問

今こそ、ワイズメンズクラブは、時代の変化の要請にこたえて、変わらなければなりません。東新部では、2022年-2023年度のALL 東新部始動の主題を引き継ぎ 2023年-2024年度の部主題は「ALL 東新部、継続・発展！」といたします。即ち、ワイズとYMCAが協調し、YMCAを含めたユース世代への働きかけを強め、ユース・エンパワメントを輝かせ、次世代にワイズとYMCAへの将来の希望を示すことです。

出席予定の方々：今井武彦 部長 伊丹一之 書記
比奈地康晴 国際・交流事業主査
加藤義孝 会員増強事業主査
神保伊和雄 部大会実行委員長

※ 6月例会報告

居場所事業「liby」の現状と課題

東京YMCA南センター liby 担当 押山 愛紀子 氏



卓話要旨

- 現在のlibyはスタッフ1名となり、事業を担っています。
1事業部所から事業へと変更し、南居場所事業となりました。
- libyメンバー、サポートリーダーと共に活動をし、liby日記を作成し、活動を紹介。
- 居場所事業として出来ることは？
南居場所、西居場所と両所で連携し、できる事柄から。
- ボランティア募集をactivo(アクティボ)サイトを活用して。
- YMCAイチゴの部屋(日本語・学習支援)を参考にチラシ作成を。
高校生のボランティアは「YMCA 保育園ねがい」と連携できるか模索中。

- 南センターでのリーダー登録はほぼ30名、夏キャンプ、特別な活動などで。
- 学生ボランティアが150名余りという盛岡YMCAを訪ねて、活動の参考に。
若者は活動題材を求めている。リソースととらえて。
- 南センターの担当スタッフは一人でも皆で支え合い活動できる方法を。
学童保育にリーダーが参加し、支えるリーダーが多くなるのでは。

新たな課題に取り組んでいる押山愛紀子さんにお話を頂き、ワイズとして共に関われる事柄を模索し、新年度へ向けてのシナリオを描きましょう。

(小原 記)



※ 山田公平理事年度がスタートいたします。

2023-24年度 区報第1号をごらんください

直接ダウンロードは

<https://www.ys->

[east.or.jp/app/download/11945029391/2023-](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-)

[2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500)

国際会長

ウルリック・ラウリドセン

7月は新しいリーダーを迎え、新年度の活動を開始する月です。

ここ数年、私たちは直前国際会長のキム博士の主題である「ヒールザワールド（世界を癒そう）」のもとで活動してきました。「ヒールザワールド」という言葉は、多くの人の耳には素晴らしい響きに聞こえるかもしれませんが、一方で、少し圧倒されるかもしれません。私たちは野心的であるべきですが、癒しとは、家族や友人、同僚、クラブの仲間に対するハグや 優しい感謝の言葉かもしれません。私たちは、世界中でたくさんのプロジェクトを行っています。その多くは、医療や精神的な支援という意味での癒しに焦点を当てたものですが、癒しは、高齢者が教会に通ったり、観光ツアーに出かけるのを手伝ったりといった単純な行為の形をとることもあります。貧しい人々やホームレスのために特別な日に食べ物を提供したり、恵まれない子供たちのために活動を企画したりすることも、癒しかもしれません。私たちは、常に他人のニーズに気を配り、助けるための最善の解決策を見つけるべきです。

持続可能な開発目標 (SDGs)： 平和と繁栄による世界の癒し 2015 年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、現在そして将来にわたって、人々と地球の平和と繁栄のための共通の青写真を提示しています。その中心にあるのは、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) であり、先進国も開発途上国も含めたすべての国々が、グローバルなパートナーシップのもとで行動を起こすための緊急の呼びかけです。

SDGs は、貧困やその他の困窮に終止符を打つには、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進する戦略と手を携えなければならないことを認識しています。(出典：17 の目標)

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) は、特に「ヒールザワールド」と「タイムオブファスト (TOF)」の取り組み、そして「ロールバックマラリア (RBM)」プロジェクトを通じたマラリア撲滅 への長期的な支援を通じて、国連の世界目標の多くに取り組んでいると結論づけることができます。また、目標 13 の「気候変動対策」についても考えていただきたいと思います。気候変動とその影響と闘うために、緊急に行動を起こしてください。YMI は、環境に責任を持つ組織であることを約束し、環境フットプリントを削減する責任を受け入れます。これは YMI の活動に参加する権利に付随する義務です。YMI は、指導者の移動に伴う CO2 排出量を相殺するプロジェクトに投資しています。クラブと YMCA は、温室効果ガスの排出を削減または排除するプロジェクトのための資金を申請することができます。資金申請や寄付による支援方法については、ウェブサイトをご覧ください。

☀️ YMCA 保育園ねがい ヒマワリ植え付け

6月26日(月) 暑い中、ガーデニングに来ていただき、本当にありがとうございました。

コロナの扱いが軽くなったとはいえ、保育園では今も他の感染症が流行し、体調を崩す子ども(大人も)が続いています。

今日も、職員の欠勤や早退者、入園見学の対応の中、本当にありがとうございました。

自由過ぎる！子ども達にお付き合いいただき、得難い異年齢交流であったと思います。

見学の方が Ys のお働きにとってもびっくりされて、喜んでおられました。

水やりを子どもたちと頑張り、花が咲くまで見守れたらと心から願っています。

次回の親子プログラムを楽しみにしています。

ありがとうございました。蒸し暑かったですね。曇りだったのが、まだ幸いでした。

(今井 世都 園長 記)



☀️ 下北沢音楽祭

みんなのうたごえサロン 2023

7月6日(木) 14:00 開演

北沢タウンホール

コロナ禍で途絶えていた、「みんなのうたごえサロン」童謡唱歌を歌う集いが、開催されました。

うたごえリーダー：

小川圭一君、

アシスタント：

武田清美さん、



ピアノ：

鈴木信子さん、
片岡幸江さん、
武藤栄子さん



歌いつぎたい日本の歌 100 選より、
季節の歌、外国の歌など、懐かしい歌を
ピアノ伴奏に合わせ、声高らかに。

☀ 会長通信 2307

新年度を迎えることが出来ました。感謝して、出来ることを進めてまいりたいと思います。

高齢化により、運動量は小さくなりますが、YMCA 運動の発展のために祈り続けましょう。

また、交流するワイズの楽しさも作り出していきたいものです。

(小川 記)

☀ YMCA NEWS

5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。

- 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、

新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任。

- 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。初回は、コロナ禍の影響や物価上昇等により経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち(小学生35人)を対象に7月27日～29日に「山中エンジョイキャンプ」を実施し、第二弾として外国にルーツのある子どもたち(小中学生25人)を対象に8月22日～24日に「サマーキャンプ2023」を実施する。なお、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
- 国立と経堂をエリアとした居場所事業では、新たな取り組みとして「外国にルーツのある子ども」を対象としたプログラムを展開する。夏には宿題サマースクール、キャンプをYWCAや一橋大学の大学院の協力を得ながら実施する。ボランティアに大学生や専門学校生だけでなく、高校生や社会人も加わり、ボランティアのつながりの強化も図っていく。

liby 報告

- 6月10日(土) liby おでかけで高尾山に行った。
- 6月 liby 食堂 9日「カレー」 23日「手作りパンとチリコンカン」を作った。食堂の日はリーダーとメンバーの参加人数は10名を超える。
- 7月21日(金)～9月5日(火)まで夏休みになります。

今後の主な行事日程

- 外国にルーツのある子どもたちの宿題サマースクール
7月26日(水)・8月9日(水)
13:30-16:00 国立(西東京センター)
7月27日(木)・8月2日(水)17日(木)
13:30-16:00 経堂(南センター)
- 外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ
8月22日(火)～24日(木) 山中湖センター
- 「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場：インド・チェンナイ
- 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン)：
9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン)：
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園)：9月23日



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための 光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！」
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川 恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」
「心を尽くしてYMCAのために」

今井 武彦 (東京むかで)
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年7月会報

強調 テーマ

キックオフ・P R

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 押山 愛紀子

↑今月の聖句

主は羊飼、私には何も欠けることがない。
主はわたしを青草の原に休ませ
憩いの水のほとりに伴い
魂を生き返らせてくださる。

The LORD Our shepherd;
I have everything I need.
He lets me rest in fields of green grass
And leads me to quiet pools of fresh water.
He gives me new strength.
He guides me in the right paths,
As he has promised.

旧約聖書 詩編 23:1-3 (寺門 選)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 司会 | 三浦 功雄 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | |
| 5. 会食 | |
| 6. 東新部 部長訪問 | |
| | 今井 武彦 東新部部長 (東京むかでクラブ) |
| 7. ハッピーバースデー | 7/1 松井百合子さん |
| | 7/22 小川 圭一 君 |
| 6. 8. 結婚記念日 | ありません |
| 9. ニコニコ献金 | |
| 10. 諸報告 | |
| 11. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 7月 例会 プログラム

とき 令和5年7月21日(金) 19:00~21:00
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

6月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者	6月16日(金)	6月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	83%	会員	10名	切手	6月 7,020円
	第2例会		メネット	0名	現金	年度計 62,621円
	6月22日		イキャップ	0名	累計切手	
	YMCAすずらん会		ゲスト	1名		
			ビジター	6名		
			合計	17名		
			すずらん会 再開			
			ゲスト	6名		
			スタッフ	6名		
			合計	12名		

2022~2023年度
自主献金については
今期もクラブからの
献金としました

本日のメインプログラム

今井武彦 東新部部長訪問

今こそ、ワイズメンズクラブは、時代の変化の要請にこたえて、変わらなければなりません。東新部では、2022年-2023年度のALL 東新部始動の主題を引き継ぎ 2023年-2024年度の部主題は「ALL 東新部、継続・発展!」といたします。即ち、ワイズとYMCAが協調し、YMCAを含めたユース世代への働きかけを強め、ユース・エンパワメントを輝かせ、次世代にワイズとYMCAへの将来の希望を示すことです。

出席予定の方々：今井武彦 部長 伊丹一之 書記
比奈地康晴 国際・交流事業主査
加藤義孝 会員増強事業主査
神保伊和雄 部大会実行委員長

※ 6月例会報告

居場所事業「liby」の現状と課題

東京YMCA南センター liby 担当 押山 愛紀子 氏



卓話要旨

- 現在のlibyはスタッフ1名となり、事業を担っています。
1事業部所から事業へと変更し、南居場所事業となりました。
- libyメンバー、サポートリーダーと共に活動をし、liby日記を作成し、活動を紹介。
- 居場所事業として出来ることは？
南居場所、西居場所と両所で連携し、できる事柄から。
- ボランティア募集をactivo(アクティボ)サイトを活用して。
- YMCAイチゴの部屋(日本語・学習支援)を参考にチラシ作成を。
高校生のボランティアは「YMCA 保育園ねがい」と連携できるか模索中。

- 南センターでのリーダー登録はほぼ30名、夏キャンプ、特別な活動などで。
- 学生ボランティアが150名余りという盛岡YMCAを訪ねて、活動の参考に。
若者は活動題材を求めている。リソースととらえて。
- 南センターの担当スタッフは一人でも皆で支え合い活動できる方法を。
学童保育にリーダーが参加し、支えるリーダーが多くなるのでは。

新たな課題に取り組んでいる押山愛紀子さんにお話を頂き、ワイズとして共に関われる事柄を模索し、新年度へ向けてのシナリオを描きましょう。

(小原 記)



※ 山田公平理事年度がスタートいたします。

2023-24年度 区報第1号をごらんください

直接ダウンロードは

<https://www.ys->

[east.or.jp/app/download/11945029391/2023-](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-)

[2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500](https://www.ys-east.or.jp/app/download/11945029391/2023-2024%E5%8C%BA%E5%A0%B1%E5%8F%B7.pdf?t=1688133500)

国際会長

ウルリック・ラウリドセン

7月は新しいリーダーを迎え、新年度の活動を開始する月です。

ここ数年、私たちは直前国際会長のキム博士の主題である「ヒールザワールド(世界を癒そう)」のもとで活動してきました。「ヒールザワールド」という言葉は、多くの人の耳には素晴らしい響きに聞こえるかもしれませんが、一方で、少し圧倒されるかもしれません。私たちは野心的であるべきですが、癒しとは、家族や友人、同僚、クラブの仲間に対するハグや 優しい感謝の言葉かもしれません。私たちは、世界中でたくさんのプロジェクトを行っています。その多くは、医療や精神的な支援という意味での癒しに焦点を当てたものですが、癒しは、高齢者が教会に通ったり、観光ツアーに出かけるのを手伝ったりといった単純な行為の形をとることもあります。貧しい人々やホームレスのために特別な日に食べ物を提供したり、恵まれない子供たちのために活動を企画したりすることも、癒しかもしれません。私たちは、常に他人のニーズに気を配り、助けるための最善の解決策を見つけるべきです。

持続可能な開発目標 (SDGs)： 平和と繁栄による世界の癒し 2015 年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、現在そして将来にわたって、人々と地球の平和と繁栄のための共通の青写真を提示しています。その中心にあるのは、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) であり、先進国も開発途上国も含めたすべての国々が、グローバルなパートナーシップのもとで行動を起こすための緊急の呼びかけです。

SDGs は、貧困やその他の困窮に終止符を打つには、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進する戦略と手を携えなければならないことを認識しています。(出典：17 の目標)

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) は、特に「ヒールザワールド」と「タイムオブファスト (TOF)」の取り組み、そして「ロールバックマラリア (RBM)」プロジェクトを通じたマラリア撲滅 への長期的な支援を通じて、国連の世界目標の多くに取り組んでいると結論づけることができます。また、目標 13 の「気候変動対策」についても考えていただきたいと思います。気候変動とその影響と闘うために、緊急に行動を起こしてください。YMI は、環境に責任を持つ組織であることを約束し、環境フットプリントを削減する責任を受け入れます。これは YMI の活動に参加する権利に付随する義務です。YMI は、指導者の移動に伴う CO2 排出量を相殺するプロジェクトに投資しています。クラブと YMCA は、温室効果ガスの排出を削減または排除するプロジェクトのための資金を申請することができます。資金申請や寄付による支援方法については、ウェブサイトをご覧ください。

☀️ YMCA 保育園ねがい ヒマワリ植え付け

6月26日(月) 暑い中、ガーデニングに来ていただき、本当にありがとうございました。

コロナの扱いが軽くなったとはいえ、保育園では今も他の感染症が流行し、体調を崩す子ども(大人も)が続いています。

今日も、職員の欠勤や早退者、入園見学の対応の中、本当にありがとうございました。

自由過ぎる！子ども達にお付き合いいただき、得難い異年齢交流であったと思います。

見学の方が Ys のお働きにとってもびっくりされて、喜んでおられました。

水やりを子どもたちと頑張り、花が咲くまで見守れたらと心から願っています。

次回の親子プログラムを楽しみにしています。

ありがとうございました。蒸し暑かったですね。曇りだったのが、まだ幸いでした。

(今井 世都 園長 記)



☀️ 下北沢音楽祭

みんなのうたごえサロン 2023

7月6日(木) 14:00 開演

北沢タウンホール

コロナ禍で途絶えていた、「みんなのうたごえサロン」童謡唱歌を歌う集いが、開催されました。

うたごえリーダー：

小川圭一君、

アシスタント：

武田清美さん、



ピアノ：

鈴木信子さん、
片岡幸江さん、
武藤栄子さん



歌いつぎたい日本の歌 100 選より、
季節の歌、外国の歌など、懐かしい歌を
ピアノ伴奏に合わせ、声高らかに。

☀ 会長通信 2307

新年度を迎えることが出来ました。感謝して、出来ることを進めてまいりたいと思います。

高齢化により、運動量は小さくなりますが、YMCA 運動の発展のために祈り続けましょう。

また、交流するワイズの楽しさも作り出していきたいものです。

(小川 記)

☀ YMCA NEWS

5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。

- 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、

新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任。

- 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。初回は、コロナ禍の影響や物価上昇等により経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち(小学生35人)を対象に7月27日～29日に「山中エンジョイキャンプ」を実施し、第二弾として外国にルーツのある子どもたち(小中学生25人)を対象に8月22日～24日に「サマーキャンプ2023」を実施する。なお、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
- 国立と経堂をエリアとした居場所事業では、新たな取り組みとして「外国にルーツのある子ども」を対象としたプログラムを展開する。夏には宿題サマースクール、キャンプをYWCAや一橋大学の大学院の協力を得ながら実施する。ボランティアに大学生や専門学校生だけでなく、高校生や社会人も加わり、ボランティアのつながりの強化も図っていく。

liby 報告

- 6月10日(土) liby おでかけで高尾山に行った。
- 6月 liby 食堂 9日「カレー」 23日「手作りパンとチリコンカン」を作った。食堂の日はリーダーとメンバーの参加人数は10名を超える。
- 7月21日(金)～9月5日(火)まで夏休みになります。

今後の主な行事日程

- 外国にルーツのある子どもたちの宿題サマースクール
7月26日(水)・8月9日(水)
13:30-16:00 国立(西東京センター)
7月27日(木)・8月2日(水)17日(木)
13:30-16:00 経堂(南センター)
- 外国にルーツのある子どもたちのサマーキャンプ
8月22日(火)～24日(木) 山中湖センター
- 「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
9月15日～20日
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革
会場：インド・チェンナイ
- 「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン)：
9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン)：
9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園)：9月23日